

## 松江総合医療専門学校 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時：令和2年2月18日（火） 13：30～15：30

2. 出席者：委員：太田真英、小林央、松浦昌代、多久和宣久、佐藤佑一、小林邦彦

学校：理事長、理事、学校長、理学療法士科学科長、作業療法士科学科長、看護学科学科長

3. 次 第：
- ①理事長挨拶
  - ②松江総合医療専門学校の果たすべき役割
  - ③学校概要・現況説明
    - ・学科編成と学生数
    - ・入学生・卒業生の出身地内訳
    - ・求人状況・就職状況
    - ・全国の有資格者数
    - ・授業時間数と単位数
    - ・奨学金等
    - ・事業活動収支
    - ・自己評価
    - ・その他
  - ④意見交換
  - ⑤閉会

4. 議 題：
- ①福祉、医療に果たす役割
  - ②少子化の中での学校運営、定住拠点としての自覚
  - ③地域課題への貢献

次第に沿って進められ、議題に従って意見、質疑応答がなされた。

## 【議 事】

### ①福祉、医療に果たす役割について

- ・若年の女性というのが非常に急速に減りつつある中で松江総合医療専門学校は地元への就職が多いと聞いている。これからも地元で根差す医療人を輩出してほしい。
- ・学校を大事にしていくことは、松江市のみならず島根県そして山陰にとっても非常に重要なことで、本当にできるだけ連携して支えていきたいと思っている。

(学校) 現在、卒業生が2,000人を超えた。この2,000人は約60%~70%が島根県内、特に松江市を中心にして就職している。だいたいどの医療施設に行っても、我が校の卒業生がいるという状況。これからも地域の医療・福祉に携わる役割をしっかりと自覚し、医療人を育てていく所存である。

### ②少子化の中での学校運営、定住拠点としての自覚

- ・(高校校長) 松江総合医療専門学校できめ細かく先生方にご指導いただいております。卒業生徒と話をすると、頑張っていますよという風に言ってもらうことは、本当にびっくりするくらい成長している姿を見ている。是非今後も、現在も看護師志望の生徒とか作業療法士・理学療法士の生徒に専門学校から先生に来ていただき、キャリア教育の一環としても是非連携を深め、専門学校との関係を密にして地域の人材を輩出していきたいと思っている。

(学校) 学校独自の奨学金制度も設けている(給付型、貸与型)。地域に貢献する医療福祉に関わる優秀な人材を増やすために、地元金融機関とも提携した給付型奨学金も充実させている。

### ③地域課題への貢献

- ・(地域) ここ数年、学校の学生さんが各家庭を訪問して、おじいさんおばあさん達がどんな気持ちでいるかという風なことや、色んな心配事がないかという風なことを聞いて回ってくれている。それが契機で非常に地域の住民の皆さんから専門学校というところは我々が歳をとったから見てもらえるような人が養成されていて、ありがたいことだという声がよく出るようになった。今後とも専門学校さんには努力していただいて1人でも多い医療人を作っていただくということが非常に大きな期待であるという風に思っている。
- ・看護、それからPT、OTということで、専門職として育てるといようなことと併せ持ち、これから先職域を少し広げて地域で生きていけるような、そういうような人材をいかに一緒に育てていくかということがとっても重要だと思っている。最終的には地域福祉の街づくり、そういう拠点というようなことにも繋がっていくのではないかと思う。松江総合医療専門学校と一緒に頑張ってやっていきたい。

(学校) 学校としても地域の方々への恩返し、医療人育成のために地域貢献をしていきたい。また地域包括ケアにもでき得る限り参入させていただきたい。

学校関係者評価委員名簿

氏 名	所 属
太田 真英	一般社団法人 島根県理学療法士会 会長
小林 央	一般社団法人 島根県作業療法士会 会長
松浦 昌代	島根県看護連盟 顧問
多久和 宣久	松江市大野地区自治振興協議会会長
佐藤 佑一	卒業生
小林 邦彦	松江市立女子高等学校校長